

取扱説明書

レグザテレビ用壁取付金具 FPT-WA18

- このたびはレグザ純正壁取付金具をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この壁取付金具はレグザテレビ専用です。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

取扱説明書には、取付工事をするかた、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置お使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	*1 “取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されること”を示します。
 注意	*2 “取扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。 *3

* 1 : 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

* 2 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

* 3 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	“⊘”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 免責事項について

- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない機器との組合せによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取付不備によって発生した損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後に取りはずすと、壁面に取り付けネジ類の穴やアンカーボルトが残りますのでご了承ください。
- 壁面にテレビを設置して長期間視聴すると、壁面が変色したりよごれたりすることがありますのでご了承ください。

お客様へ

警告

- テレビを壁に設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、工事専門業者に依頼する

取付工事には専門知識や技術が必要です。お客様自身で行なうと、テレビの落下などで死亡や重傷を負う原因となることがあり、危険ですのでおやめください。



指 示

注意

- テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁 止

- 取り付けたテレビの画面角度を変えない

画面角度を変えることはできません。無理に力を加えると、固定したネジなどが抜け、テレビが落下してけがの原因となることがあります。



指 示

取付工事をされるかたへ

警告

- 取付部(壁面)が、テレビを含めた総重量に長期間耐え、地震や振動に十分耐えられる施工をする

取付が不完全だと、テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。以下の事項を必ずお守りください。

<壁が木造の場合の取付け>

荷重は必ず壁裏の支柱に持たせるようにし、壁裏の支柱強度が不足する場合は、補強してください。石膏ボードには取り付けないでください。

<壁がコンクリートの場合の取付け>

テレビの重さに十分耐える市販のアンカーを使用してください。



指 示

- 壁に固定した壁側取付金具にテレビ側取付金具が完全に固定され、抜けないことを確認する

テレビが落下してけがの原因となります。



指 示

- 本製品を他の用途に使用しない

本製品はレグザテレビ専用です。



禁 止

注意

- テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁 止

- 振動の多い場所やストーブ・エアコンの吹出口、湿気・油煙・ほこり・湯気の当たるようなところ(加湿器、調理台のそばなど)には設置しない

火災や感電の原因となることがあります。



指 示

製品改良のため、外観・形状は予告なく変更することがあります。
最新の対応機種名については、ホームページでご確認ください。

この取扱説明書で使用しているテレビのイラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。

壁取付工事には専門知識や技術が必要です。必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。

■ 取付工事をされるかたへ

取付の前に、この壁取付金具取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

お客様の安全のため、取り付ける場所にテレビと壁取付金具の重さに耐える十分な強度があることを確認し*、必要に応じて壁の補強をしてから、取付作業をしてください。

取付作業は必ず二人以上で行なってください。

はずしたネジや部品をなくさないよう、ご注意ください。

工事前に取付位置についてお客様と十分に相談し、お客様の同意を得てから作業を開始してください。

取付が終わったあとは、正しく・安全に取付工事が完了したことを確認・点検し、この壁取付金具取扱説明書をお客様にお渡しください。

* 本製品を取り付けるための壁の構造・材質について

本製品を取り付ける壁面は

薄いベニヤ板やしっくいボードなどの壁では十分な強度を保てません。

以下の表を参照し、壁の構造に適した固定方法を選択してください。

以下の表は壁の材質に対する標準的な固定方法の例を示したものです。実際に取り付ける場所の構造や強度などを十分に確認してから、より安全・確実な固定方法で取り付けてください。

■ ご注意

- 本壁掛け金具は、テレビを壁面に近接して設置する構造のため、テレビ背面のHDMI端子などの背面端子はご利用いただけません。
また、テレビ背面に隠れる位置の壁面コンセントはご利用いただけません。
- 背面端子をご使用になる場合は、ホームページに掲載している設置方法に関する補足情報をご確認ください。

<https://www.regza.com/option/wallmount/fpt-wa18>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

壁の材質に適したアンカー／ネジの使用例

壁材	アンカー
石こうボード	石こうやベニヤ板には取付不可。
合成ボード	はりに固定する。または、ボードを強化する
コンクリート	全アンカーまたはボルトプラグ
ブロック	タイロックアンカー
ALC	
モルタル	
レンガ	
木製の柱	コーチボルト（6mm 径× 60mm）

組立前の準備

（この作業は必ず工事専門業者が行ってください）

注意

■ テレビを箱から取り出すとき、または現在使用している卓上スタンド付きテレビからスタンドを取りはずすときは、二人以上で作業する
ひとりで作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。

- 作業を始める前に、部品表ですべての部品がそろっているか、確認してください。
- 電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部機器などの接続コード類をテレビから抜いてください。
- 作業中に電源コードを傷つけないように、布やビニールなどで保護してください。また、その取扱にご注意ください。
- 取りはずしたスタンドなどは、たいせつに保管してください。
- 平らな場所に毛布などの柔らかいものを敷き、その上にテレビの画面を下にして置いてください。
- スタンド取付説明書もあわせてご覧ください。

テレビ側取付金具の取付

(この作業は必ず工事専門業者が行なってください)

1 傷つけないよう平らな場所に毛布などを敷き、その上にテレビの画面を下にして置く

(1) テレビ側取付金具を取り付ける位置のネジ穴に、固定ネジが付いているテレビの場合は、固定ネジを取りはずす

- 取りはずした固定ネジは、テレビと同梱されている卓上スタンドなどの部品と一緒に、たいせつに保管してください。

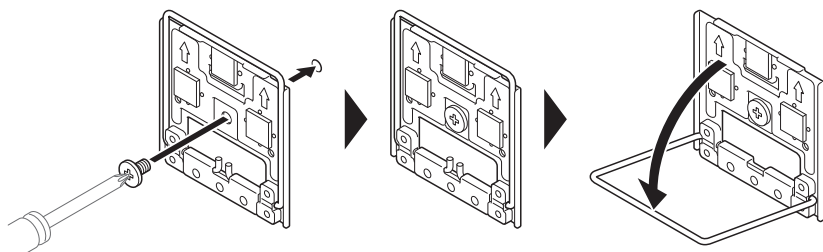
2 付属のネジ2本を使用してテレビに「テレビ側取付金具」を取り付ける

(1) 取付金具は矢印の向きがテレビの上側になるように取付けてください。

- テレビの機種によって、対応する取付ネジが異なります。最新の対応機種名、使用可能な付属の取付ネジについては、ホームページの壁取付金具をご確認ください。

<https://www.regza.com/regza/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

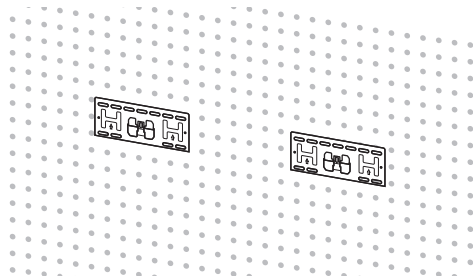


壁側取付金具の設置

(この作業は必ず工事専門業者が行なってください)

1 壁側取付金具を壁に取り付ける

- (1) テレビ本体の重量が80kgを超えないこと。
- (2) 壁側取付金具の位置を付属の「壁側金具位置決め台紙」で決めて、テレビと壁側取付金具の重さに耐えられるように、市販のアンカーボルトかネジで取り付ける
 - 壁側取付金具の位置決めは付属の「壁側金具位置決め台紙」に記載の説明をご確認ください
 - 壁側取付金具の取付孔は11箇所あります。壁の材質に適したアンカー / ネジの使用例を参考にし、テレビの重さ、設置場所に応じて、適切な取付孔を選び、より安全・確実な取付方法を選んでください。



テレビの設置

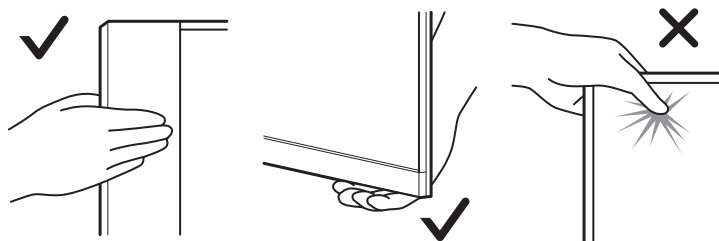
(この作業は必ず工事専門業者が行なってください)

1 テレビ本体を壁側取付金具に取り付ける

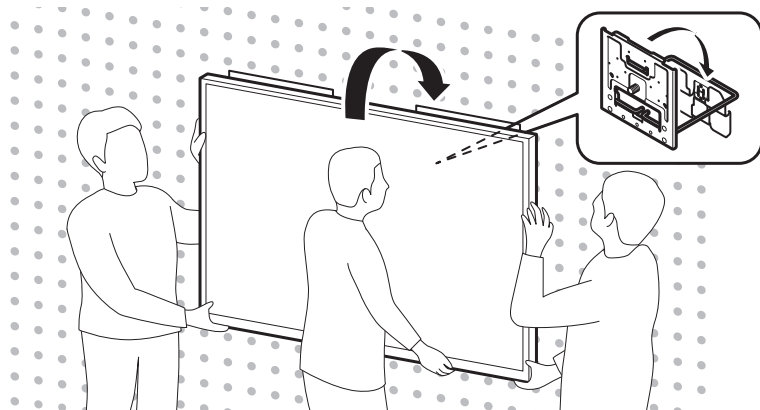
- 必ず2人以上で作業してください。
- 各コード類をテレビ側取付金具と壁側取付金具の間で挟まないように、十分ご注意ください。

(1) 以下の順で取り付ける

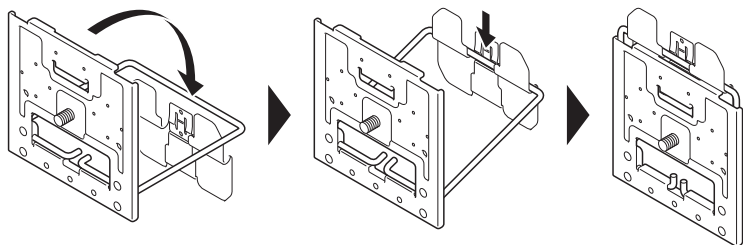
- ① テレビを取り付ける際はパネルを直接さわらないようにしてください。



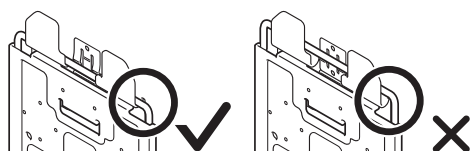
- ② テレビ側取付金具の上側引っ掛け部を壁側取付金具に上側からゆっくり下ろしながら引っ掛ける。



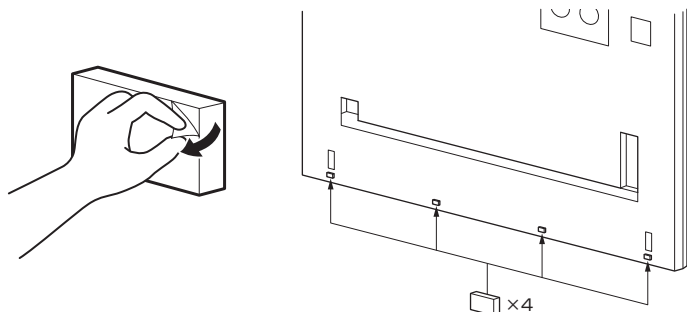
- ③ 壁側の金具にカチッと固定されたら、テレビを壁に寄せると磁石により固定されます。



テレビ側の金具が壁側の金具に
きちんと引っ掛かるように注意
してください。



- ④ 壁とテレビのパネル面が平行になるように、クッションを貼り付けてください。テレビ背面カバーの下端から20～30mm離れた位置に、両面テープの剥離紙を剥がして2～4個貼り付けてください。

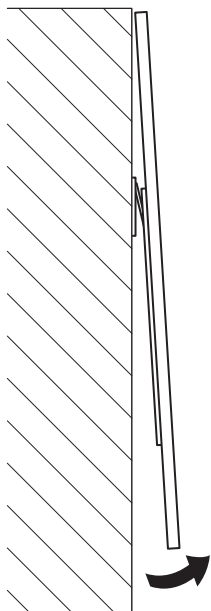


(2) 取り付けが完了したあとに、ケーブル類を挿抜する必要がある場合は、以下の順で作業をしてください

① テレビの電源を切ってください。

② 図に従ってテレビの下側を持ち上げて操作してください。

作業中は必ず2人以上で行い、動作は慎重かつゆっくり行なってください。手を挟んだり、ケーブルを折ったり、絡ませたり、テレビ画面や背面を損傷しないよう注意してください。



取りはずしかた

(この作業は必ず工事専門業者が行なってください)

1 テレビを壁側取付金具からはずす

(1) 平らな場所に毛布などの柔らかいものを敷く

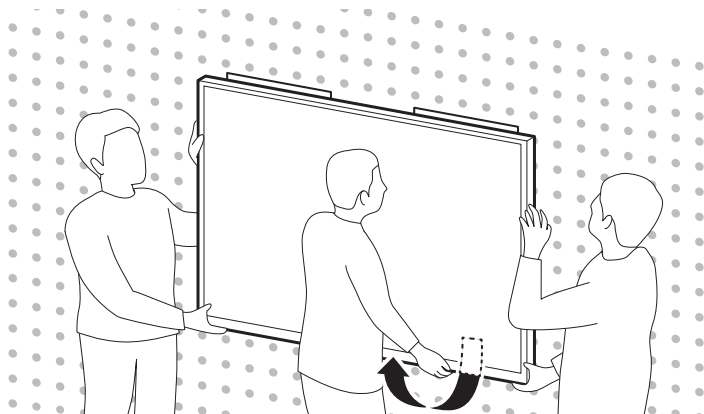
- あらかじめ、はずしたテレビの置き場所を決めておきます。

(2) 電源プラグをコンセントから抜く

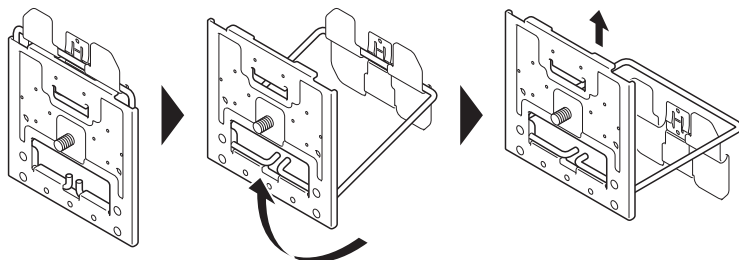
- 接続したアンテナ線やコード類を壁などに固定している場合ははずします。
- アンテナ線やコード類は、壁のアンテナ端子や外部機器側で抜きます。
- 作業の際にコード類を傷つけないように、十分にご注意ください。

(3) テレビの設置と逆の手順で取りはずす

- ① テレビの下側を持ち壁から磁石で固定されているテレビを離す。
テレビを持つ際はパネルを直接さわらないようにしてください。



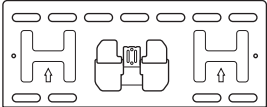
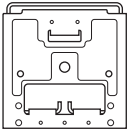
- ② テレビ側取付金具の引っ掛かりが壁に対して90度を開いたら、テレビを上を持ち上げて壁から離す。



部品表

部品

- すべての部品がそろっているかご確認ください。
- 組立には、プラスドライバーが必要です。

部品名	数量
壁側取付金具 	2
テレビ側取付金具 	2
クッション	4
取付ネジ (M8x12)	2
取付ネジ (M8x20)	2
取付ネジ (M6x12)	2
取付ネジ (M6x16)	2
取扱説明書	1
壁側金具位置決め台紙	1

お取り扱い・お手入れ方法などのご相談は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビで相談センター」

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

クワン クローナシ

0120-97-9674

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用にならない場合は、

03-6830-1048 (通話料：有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

TVS REGZA 株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西口ビル)

TV02

20123522 A

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

©TVS REGZA CORPORATION 2026